

福島への復興・創生に関する 高校生と九都県市首脳との意見交換会



日にち：平成 28 年 10 月 26 日（水）

会 場：パシフィコ横浜会議センター

目 次

I 次 第	_____	1
II 出席者名簿	_____	2
III 座 席 表	_____	4
IV 資 料	_____	5

意見交換会について

本年5月に福島県で開催した第69回九都県市首脳会議での意見交換を踏まえ、九都県市首脳会議の初めての取組として、福島県の未来の復興を担う福島県の高校生及び復興支援に取り組んでいる首都圏（横浜市）の高校生を招き、それぞれの活動報告や首脳との意見交換を行います。

I 次 第

- 1 開 会 (11時30分)

- 2 あいさつ
 - (1) 座長あいさつ
 - (2) 福島県副知事あいさつ

- 3 九都県市による福島の復興・創生に関する報告

- 4 高校生からの取組紹介
 - (1) 福島復興の課題
(福島県立福島高等学校スーパーサイエンス部の取組)
 - (2) 東北復興支援フットサルイベント
～K I C K O F F明日へ 仲間へ～
(横浜市立みなと総合高等学校女子フットサル部の取組)

- 5 意見交換
 - (1) 高校生による意見交換【ファシリテーター：熊谷千葉市長】
 - (2) 高校生と首脳の意見交換

- 6 まとめ

- 7 閉 会 (12時45分)

Ⅱ 出席者名簿

高校生

福島県立福島高等学校スーパーサイエンス部の皆様

すず き た ろう
鈴 木 太 朗 さん（2年生、スーパーサイエンス部部长）
のり い み く
法 井 美 空 さん（2年生、スーパーサイエンス部副部长）
くま がい
熊 谷 り さ さん（2年生）
さ さ き あや な
佐々木 絢 奈 さん（2年生）

横浜市立みなと総合高等学校女子フットサル部の皆様

わか ばやし あ す か
若 林 明日香 さん（卒業生、女子フットサル部12期キャプテン）
しば もと
柴 本 あゆみ さん（3年生、女子フットサル部13期キャプテン）
あさ た めぐ み
浅 田 恵 美 さん（3年生、女子フットサル部13期部长）
した ら の あ
設 楽 の 愛 さん（2年生、女子フットサル部14期マネージャー）

横浜市立横浜商業高等学校の皆様

ふく し さ え
福 士 紗 英 さん（3年生）
はら た もも こ
原 田 桃 子 さん（2年生）

横浜市立南高等学校の皆様

にし むら しゅん すけ
西 村 俊 祐 さん（2年生）
はせ がわ なな み
長谷川 七 海 さん（2年生）

横浜市立桜丘高等学校の皆様

あお き たく や
青 木 拓 哉 さん（2年生）
うめ き あきら
梅 木 朗 さん（2年生）

福島県

^{すず}鈴木 ^{まさ}正 ^{あき}晃 福島県副知事

九都県市

^{しお}塩 ^{かわ}川 ^{おさむ}修 埼玉県副知事

^{もり}森 ^た田 ^{けん}健 ^{さく}作 千葉県知事

^こ小 ^{いけ}池 ^{ゆり}百合子 東京都知事

^{くろ}黒 ^{いわ}岩 ^{ゆう}祐 ^じ治 神奈川県知事

^{はやし}林 ^{ふみ}文 ^こ子 横浜市長

^{ふく}福 ^だ田 ^{のり}紀 ^{ひこ}彦 川崎市長

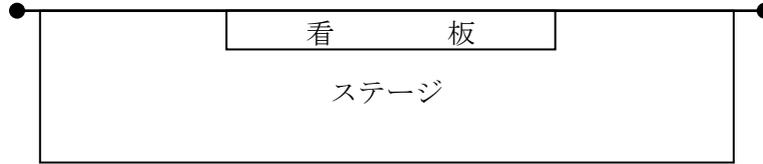
^{くま}熊 ^{がい}谷 ^{とし}俊 ^{ひと}人 千葉市長

^し清 ^{みず}水 ^{はや}勇 ^と人 さいたま市長

^か加 ^{やま}山 ^{とし}俊 ^お夫 相模原市長

Ⅲ座席表

(敬称略)

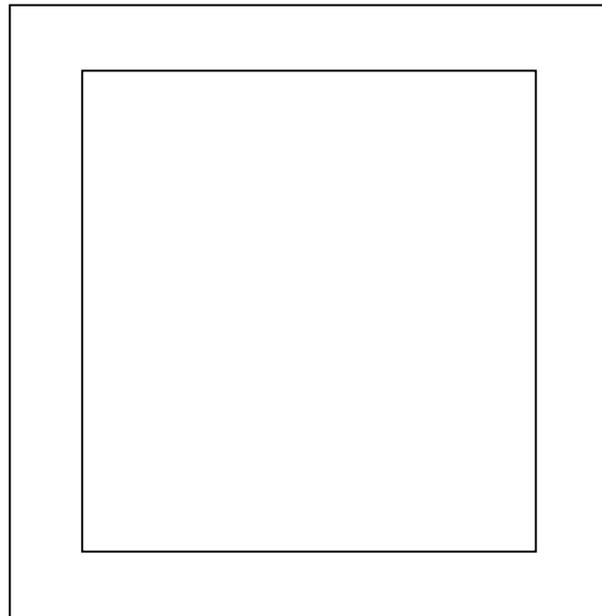


福島高等学校 スーパーサイエンス部の皆様

佐々木	熊谷	法井	鈴木
絢奈	りさ	美空	太朗
○	○	○	○

みなと総合高等学校、横浜商業高等学校、
南高等学校、桜丘高等学校の皆様

若林	明日香	○
柴本	あゆみ	○
浅田	恵美	○
設楽	乃愛	○
福士	紗英	○
原田	桃子	○
西村	俊祐	○
長谷川	七海	○
青木	拓哉	○
梅木	朗	○



○	さいたま市長 清水 勇人
○	川崎市長 福田 紀彦
○	神奈川県知事 黒岩 祐治
○	東京都知事 小池 百合子
○	千葉県知事 森田 健作

○	相模原市長 加山 俊夫
○	福島県副知事 鈴木 正晃
○	横浜市長 林 文子
○	千葉市長 熊谷 俊人
○	埼玉県副知事 塩川 修

IV 資料

1 福島の復興・創生に向けた九都県市の取組

<これまでの取組概要>

25年11月	●第64回九都県市首脳会議 ・「福島県の復興を支援する共同宣言」を採択
27年5月	●第67回九都県市首脳会議 ・「福島県の復興支援」について意見交換
6月	●「福島県の希望実現に向けた検討会」設置 福島県からの希望を踏まえて、次について九都県市が連携して取組を実施 ○教育旅行への呼び掛け ○各種広報やイベント等における支援 ○経済、商工団体に対する福島県産品取扱い等の呼び掛け
28年5月	●第69回九都県市首脳会議を福島県にて開催 ・内堀福島県知事とともに「福島県の復興・創生」について意見交換 ・「福島県の復興・創生に向けた九都県市共同宣言」を採択し、内堀知事に手交 ●現在、九都県市で連携・共同した取組等を検討・実施 ※別添「福島県の復興・創生に向けた九都県市の取組」参照

2 高校生からの取組紹介

(1) 福島復興の課題 (別添)

【福島県立福島高等学校スーパーサイエンス部】

(2) 東北復興支援フットサルイベント (別添)

～KICK OFF 明日へ 仲間へ～

【横浜市立みなと総合高等学校女子フットサル部】

■福島県立福島高等学校スーパーサイエンス部のご紹介

- 創 部 平成 19 年（2007 年）
 ＊スーパーサイエンスハイスクール指定の際に
 科学部、生物部、天文地質部などを統合
- 部 員 数 男子 61 人、女子 50 人
 （放射線班は男子 4 人、女子 9 人）
- 放射線班 ○福島の現状を発信する。
- モットー ○放射線という難しい内容をなるべくわかりやすく伝える。
- 主な活動 ○福島県内外、海外の高校生の個人線量調査・比較
- 主な受賞歴 ○2014 全国スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会
 文部科学大臣賞受賞「ベンザインの合成」
 ○2015 ふくしま高校生社会活動コンテスト
 東京大学 REASE 賞（優秀賞）
 ○2015 年度「日本生物学オリンピック」金メダル
 ○論文掲載 'Measurement and comparison of individual external doses of high-school students living in Japan, France, Poland and Belarus—the 'D-shuttle' project', Journal of Radiological Protection, No 1, March 2016



福島高校校章

■横浜市立みなと総合高等学校女子フットサル部のご紹介

- 創 部 平成 16 年（2004 年）
- 部 員 数 女子 26 名
- モットー ○フットサルというスポーツを楽しむ
 =PLAY（遊ぶ）の精神を忘れない
 ○一つのボールを通じていろいろな人と
 出会い、心身ともに成長する
 ○フットサルをするすべての仲間に敬意
 を払う
 ○文武両道
- 主な活動 ○公式大会への参加だけでなく、地域の少年チーム、男女中学生、大学生、社会人、横浜 F マリノス（女子クラス）など、様々な年代の仲間との交流を行っている。
 ○企業や J リーガーと共催で児童養護施設の子どもを招待するフットサルイベントなども行っている。
- 大会実績 ○第一回神奈川県女子フットサル選手権優勝
 （平成 28 年 5 月）
 ○神奈川県女子フットサルリーグ ef2 優勝
 （平成 26 年度）



女子フットサル部
 シンボルマーク